

那珂川町図書館

オススメの1冊

『飛び猫』 五十嵐健太／著 KADOKAWA 【645.7 伽】

我が家の猫はジャンプが下手である。おそらく飛ぶ瞬間、獲物に目が行くあまり着地のことを忘れるのだろう。よく壁や障害物にぶつかっては恥ずかしそうな様子で周りを確認している。そして（予定どおり、何の問題もなかった）という顔をして颯爽と去っていくのだが、先ほどのジャンプが失敗だったのはバレバレだ。両手と両足をピンと伸ばして飛びかかっている様子はムササビ然として大層可愛らしいが、猫としてはいかがなものか・・・。

今回紹介する本は、猫好き動物好きは無論、ジャンプ下手な猫にも見てもらいたい、猫がジャンプする瞬間を捉えた写真集だ。離島に住む様々な猫たちの躍動感あふれる飛び様が紹介されており、自然の中で生きる猫たちの日常の様子もよくわかる。それにしても猫の飛ぶ様子がこんなにも綺麗だったとは。防波堤の間、家々の屋根と屋根、港に停まっている船と船、猫たちは皆キッと前を見据え飛んでゆく。まだあどけない子猫ですら、飛ぶ瞬間は真剣だ。

著者の五十嵐氏は、文具や雑誌・テレビ等で多数の写真を提供している写真家で、これまで10万点以上の猫の写真を撮ってきたベテランである。そんな彼でも、猫がジャンプする瞬間の写真を撮るのには相当苦労したようだ。猫はきまぐれ。ジャンプするのも気分次第。関東の漁港の船で猫が寝ているところを偶然発見し、飛び越えるシーンを撮れるのではないかと思ったのが切っ掛けだそうだが、そこは猫、一回で撮影することはできず何度も同じ場所に通いようやくその姿をカメラに収めることができたのだそう。何枚かある猫じゃらしを使ったと思われる写真にも、写真家としての苦労がしのばれる。

近頃は一般の方の投稿した可愛い猫の動画をよく見かけるが、一瞬一瞬を切り取る写真には動画にはない魅力があるのではないだろうか。写っている瞬間の前後がよく分からない分、見る人それぞれの想像が広がっていく余地がある。何を考えジャンプしているのか是非猫たちの表情をじっくり見てもらいたい。むろん飛ぶのは猫だけではない。自分は猫より犬派だという方は、『FLYDOGS—空飛ぶ犬たち—』（トッド・R.バーガー／編 エクスナレッジ【645.6バガ】）という本がおすすすめだ。見ているだけで心が弾む写真集、手に取ってみてはいかがだろうか。

那珂川町図書館（葱）